

新潟地域産業見本市事前予約型個別ビジネス商談会用 マッチングシステム構築業務に係る審査要領

1 趣旨

受託候補者の選定にあたっては、提案を客観的かつ総合的に評価・採点し、新潟地域産業見本市実行委員会にとって最適な事業者を選定するため、3段階方式で審査を実施する。なお、本書は実施要綱を補完するものであり、本書に記載の用語等は実施要綱を参照すること。本プロポーザルを審査する選定委員会の委員構成は「新潟地域産業見本市事前予約型個別ビジネス商談会用マッチングシステム構築業務事業者選定委員会設置要綱」による。

2 一次審査（書類審査）

参加資格要件を満たす事業者の提案書類について、別紙1に基づき書類審査を行う。別紙1の要件をすべて満たした場合に二次審査を行う。

3 二次審査（書類審査）

一次審査後、別紙2に基づき書類審査を行う。二次審査の採点結果を踏まえ、上位3社に対して三次審査への出席を要請する。

4 三次審査（プレゼンテーション）

- (1) 二次審査を通過した提案者はプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションの実施については実施要綱の「1.2 プレゼンテーション」に記載のとおり。
- (2) 選定委員は、提案内容の不明点などを解消するため、プレゼンテーション時に提案者にヒアリング等を行う。
- (3) 選定委員は、提案書及びプレゼンテーションの内容を基に、別紙3「提案審査表」により採点を行う。
- (4) 選定委員は、別紙3「提案審査表」により高得点を獲得した提案に一票を投じる。
- (5) 得票数が最も多い提案を行った者に、本事業の業務委託契約の第1交渉権を与える。以降の交渉権は得票数の多いものから順に与える。
- (6) 得票数が同数であった場合は、各選定委員の別紙3「提案審査表」の総評価得点の優劣で選定し、総評価得点も同数であった場合は、各選定委員の協議で選定する。
- (7) 提案者が1社のみであった場合、選定委員会での審査結果が基準点以上であれば交渉権を与える。基準点を超えない場合、選定委員会の委員意見を反映させることで交渉権を与えることができる。
- (8) 基準点は選定委員会での協議によって決定する。
- (9) 選定委員会およびプレゼンテーションは非公開とする。

5 評価方法

(1) 一次審査の評価

別紙1の審査項目を満たしているか審査する。ひとつでも要件を満たしていない場合は失格とする。

(2) 二次審査の評価

別紙2の採点欄に、採点基準に従い6段階で採点する。各項目の配点に配点比率を乗じた数が点数となる。二次審査の審査項目、採点基準、配点、配点比率は別紙2のとおり。

(3) 三次審査の評価

別紙3の採点欄に、採点基準に従い6段階で採点する。各項目の配点に配点比率を乗じた数が点数となる。三次審査の審査項目、採点基準、配点、配点比率は別紙3のとおり。

一次審査 提案審査表

(審査対象)

(審査者氏名)

※採点は○、×で実施し、ひとつでも×があると失格とする。

審査項目	評価内容	審査 ○または×を記入
スケジュール・実施体制		
スケジュール	本業務の遂行にあたり、適切なスケジュールが設定されているか。	
実施体制	本業務の遂行にあたり、適切な人員が確保されているか。	
要求項目		
ファイル出力	CSV形式、PDF形式でのファイル出力が可能かどうか。	
セキュリティ管理	十分なセキュリティ対策がなされているか。	
同時アクセス	最大同時アクセスは、適切な件数を想定しているか。	
環境構築		
ブラウザ	仕様書に記載するとおりのブラウザに対応しているか。	
サーバー	システムの運用にあたり、適切なサーバー環境等が構築されているか。	

二次審査 提案審査表

(審査対象)

(審査者氏名)

審査項目	配点	評価内容	採点(※)					
			該当するものに○を付けてください					
全般								
方針・コンセプト	100	当システム開発の趣旨を的確に理解し、提案されているか。	A	B	C	D	E	F
実施体制	50	本業務の遂行にあたり、適切な人員が確保されているか。	A	B	C	D	E	F
事業実績	50	本業務の類似業務を受注した実績を有し、成果を上げているか。	A	B	C	D	E	F
顧客情報管理	50	「プライバシーマーク」又は「ISO27001」の認証取得による加点 ※表未参照	A	B	C	D	E	F
要求機能								
開催情報の管理	50	使用者が使いやすいものになっているか。	A	B	C	D	E	F
参加者登録	50	使用者が使いやすいものになっているか。	A	B	C	D	E	F
マッチング	150	使用者が使いやすいものになっているか。	A	B	C	D	E	F
開催スケジュールの調整	100	使用者が使いやすいものになっているか。	A	B	C	D	E	F
商談会の運営管理	100	使用者が使いやすいものになっているか。	A	B	C	D	E	F
商談結果などのデータ集計・分類	100	使用者が使いやすいものになっているか。	A	B	C	D	E	F
自由提案	75	要求する仕様以外の機能で、新潟地域産業見本市にとって有益になる機能が提案されているか。	A	B	C	D	E	F
価格			A	B	C	D	E	F
見積額	75	【評価方法】 提案見積額が提案上限額の80%を超えた場合は、50点とする。80%以下の場合は、75点とする。	(左記により採点し、実行委員会事務局にて事前に記入する)					
次年度以降のコスト	50	次年度以降のランニングコストは適切であるか。	A	B	C	D	E	F
合計	1000							

各項目の採点基準及び配点比率は以下のとおり。

A	客観的にとても優れている。又は、非常に効果が期待できる提案である。	配点×1.0
B	客観的に優れている。又は、それなりに効果が期待できる提案である。	配点×0.8
C	客観的に良い。又は、仕様書に準じた標準的な提案である。	配点×0.6
D	客観的にやや劣っている。又は、あまり効果が期待できない提案である。	配点×0.4
E	客観的に劣っている。又は、全く効果が期待できない提案である。	配点×0.2
F	関係する提案がない。	配点×0.0

評価得点合計
基準点

※「プライバシーマーク」または「ISO27001」の認証取得による加点基準は以下のとおり。

「プライバシーマーク」または「ISO27001」の認証取得企業が実施体制に占める割合(再委託先含む)									
A	100%	B	80%以上	C	50%以上	D	30%以上	F	認証取得企業なし

三次審査 提案審査表

(審査対象)

(審査者氏名)

審査項目	配点	評価内容	採点(※)					
			該当するものに○を付けてください					
全般								
方針・コンセプト	100	当システム開発の趣旨を的確に理解し、提案されているか。	A	B	C	D	E	F
実施体制	50	本業務の遂行にあたり、適切な人員が確保されているか。	A	B	C	D	E	F
事業実績	50	本業務の類似業務を受注した実績を有し、成果を上げているか。	A	B	C	D	E	F
顧客情報管理	50	「プライバシーマーク」又は「ISO27001」の認証取得による加点 ※表未参照	A	B	C	D	E	F
要求機能								
開催情報の管理	50	使用者が使いやすいものになっているか。	A	B	C	D	E	F
参加者登録	50	使用者が使いやすいものになっているか。	A	B	C	D	E	F
マッチング	150	使用者が使いやすいものになっているか。	A	B	C	D	E	F
開催スケジュールの調整	100	使用者が使いやすいものになっているか。	A	B	C	D	E	F
商談会の運営管理	100	使用者が使いやすいものになっているか。	A	B	C	D	E	F
商談結果などのデータ集計・分類	100	使用者が使いやすいものになっているか。	A	B	C	D	E	F
自由提案	75	要求する仕様以外の機能で、新潟地域産業見本市にとって有益になる機能が提案されているか。	A	B	C	D	E	F
価格			A	B	C	D	E	F
見積額	75	【評価方法】 提案見積額が提案上限額の80%を超えた場合は、50点とする。80%以下の場合は、75点とする。	(左記により採点し、実行委員会事務局にて事前に記入する)					
次年度以降のコスト	50	次年度以降のランニングコストは適切であるか。	A	B	C	D	E	F
合計	1000							

各項目の採点基準及び配点比率は以下のとおり。

A	客観的にとても優れている。又は、非常に効果が期待できる提案である。	配点×1.0
B	客観的に優れている。又は、それなりに効果が期待できる提案である。	配点×0.8
C	客観的に良い。又は、仕様書に準じた標準的な提案である。	配点×0.6
D	客観的にやや劣っている。又は、あまり効果が期待できない提案である。	配点×0.4
E	客観的に劣っている。又は、全く効果が期待できない提案である。	配点×0.2
F	関係する提案がない。	配点×0.0

評価得点合計
基準点

※「プライバシーマーク」または「ISO27001」の認証取得による加点基準は以下のとおり。

「プライバシーマーク」または「ISO27001」の認証取得企業が実施体制に占める割合(再委託先含む)									
A	100%	B	80%以上	C	50%以上	D	30%以上	F	認証取得企業なし